

中学部の4つの方針：

1. 教師中心型ではなく、学習者主体型の、生徒が主体的に学習に取り組めるような学習環境を整える。
2. 場面に応じた日本語を使い、円滑なコミュニケーションが取れるようにする。
3. グループディスカッションができるようにする。
4. 生活基本漢字 381 字の定着を目指す。

学期	テーマ	単元	学習内容
1	おいたち 家族	オリエンテーション 話し言葉と書き言葉 言葉の単位：言葉のまとまりを考えよう 「私と家族」に関する読み物 漢字の組み立てと部首	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 中学部の学習の基本の「4つのルーティーン」について再確認をする。</li> <li>• 話し言葉と書き言葉の違いについて考える。</li> <li>• 文、文節、単語といった言葉の単位を意識する。また、練習問題を通してそれぞれの性質を理解する。</li> <li>• 私と家族について書かれている内容の文化的背景を理解し、習慣や価値観の違いを知る。</li> <li>• 自分の名前の由来を調べる</li> <li>• 「私の自伝」を書いて、自分と家族のつながりについて考える。</li> <li>• イラストや例を基にして、漢字の4つのパターンを理解する。</li> </ul>
2	お祭り、年中行事 敬語	もっと「伝わる」表現をめざして 指示する語句と接続する語句 わかりやすい案内文を書く 文の組み立て：言葉の関係を考えよう 「お祭り、年中行事」に関する読み物 敬語	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 観点を立てて言葉を集め、日本/オーストラリアのお祭りや年中行事で食べる食べ物について紹介文を百字程度書き、クラスで紹介し合う。</li> <li>• 指示する語句の働きを表を使って理解する。指示する語句にはそれが指し示す内容があることを理解し、練習問題をしながら確認する。</li> <li>• 上達のポイントの「案内文の構成」と「書き方」を学び、土曜校の行事の案内文（保護者向け）を書く。</li> <li>• 色々な通信文の基本的なルールを理解する。</li> <li>• 敬語を使う。</li> </ul>
3	友達 本読みサント	さまざまな表現技法 調べたことを報告しよう 「友達」に関する読み物 ストーリー作文	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「言葉の並べ方の工夫」を読み、それぞれの表現技法がどのようなリズムの違いや効果を生み出しているか考える。また、「比喩（たとえ）」を読み、それぞれの比喩によってどのような印象が生み出されているか考える。</li> <li>• 様々な表現技法を使って、ストーリー作文を書き、それを「本</li> </ul>

			<p>読みサンタ」の時に小学校 1 年生にプレゼントする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• レポートの形式に沿ってまとめる方法を知る。</li> <li>• 「本読みサンタ」のために小学 1 年生の好きな本/ゲーム等を調査し、データを集める。集めたデータを整理し、レポートの構成に沿って文章にまとめる。グループでレポートを読み合い、助言し合う。</li> <li>• 中学 2 年生と協力して、本読みサンタのプロジェクトに積極的に参加する。</li> </ul>
4	田舎と都会 学校生活	<p>単語の分類：単語の性質を見つけよう 話題や方向を捉えて話し合おう 漢字の音訓 「田舎と都会」、「学校生活」に関する読み物 印象深く思い出を伝えよう（小学校 6 年生へのメッセージ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 単語カードを使って、その並べ替えをしながら、単語の性質の違いに気づき、単語を分類する観点があることを理解する。</li> <li>• 自立語、付属語、活用の有無などに気づき、品詞についての基本的な概念を持つ。</li> <li>• 漢字の音と訓の性質や歴史を理解する。また、音や訓を用いて短い文を作る。</li> <li>• 「田舎と都会」の長所と短所について、根拠を明確にしてグループ/クラスでディスカッションをする。</li> <li>• 土曜校の中 1 の学校生活を題材に、グループで来年度の新入生へメッセージを作る。</li> </ul>

- 授業の進捗状況、学校行事、生徒の理解度等の事情により、取り扱う単元や時期が異なることがあります。